



パントルナイーフ *Peintre Naïf*

牡 黒鹿毛 2023.4.9生
北海道新冠町 新冠橋本牧場生産
馬主・(有)キャロットファーム 美浦・木村哲也厩舎
馬名意味・素朴派(仏)。近代アートのジャンル。母名より連想

イグジビットワンUSA系 F9-e

キズナ 青鹿毛 2010	ディーブインバウト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA
		ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat
		Pacific Princess
アールブリュット 鹿毛 2012	Makfi 鹿毛 2007	Dubawi
		Dhelaal
	イグジビットワンUSA 鹿毛 2002	Silver Hawk
		Tsar's Pride

5代までのインブリード: Hail to Reason S5×M5 Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

橋本英之代表(新冠橋本牧場)

順調に来年を迎えられることを願っています

母馬が当牧場に来てから初めて産んだ仔がパントルナイーフです。兄パラレルヴィジョンが重賞を勝っていたので本馬への期待度は当然あがりました。今回の勝利によってポテンシャルが高い馬であることが分かったので、怪我をしないで無事にしてくれたら自然と結果はついてくると 생각합니다。順調に来年のクラシックシーズンを迎えられることを願っています。

K.Ishiyama



非凡な瞬発力で出世レースを制覇

前年の優勝馬クロワデュノールをはじめ、数々の大物が飛躍への一里塚としてきた東京スポーツ杯2歳Sには、2025年も高い将来性を感じさせる素質馬たちが集結。6月の新馬戦を好タイムで逃げ切ったダノンヒストリー、ラスト2ハ、10秒台のラップを連発して9月の初陣を勝ち上がったライヒスアドラーと、1戦1勝の面馬が人気の中心を占めた。しかし勝利を飾ったのは2頭に次ぐ存在と目されていたパントルナイーフ。1戦ごとにパフォーマンスを高めてきたキズナ産駒が鮮やかな強襲を決めた。

軽快なダッシュで飛び出したテルヒコウが、内のラストスマイルを抑えて

先手を奪取。主導権を握ってからはペースを緩め、落ち着いた流れでレースは進む。4コーナー手前、4番手のインから外へ持ち出そうとしたライヒスアドラーは他馬に蓋をされて後退。中団につけたパントルナイーフのC・ルメル騎手がこれを横目に位置を上げ、先行勢を射程に収めたのに対し、スタートで立ち遅れたダノンヒストリーは後方3番手で直線勝負に構えた。

マイペースの逃げを打ったテルヒコウは直線の坂上で失速。残り400m地点から本格的に仕掛けられたパントルナイーフを筆頭に、最内を突いて追い込んだライヒスアドラー、外から伸びてきたゾロアストロと、鋭い決め手を披露した3頭が逃げ馬を呑み込む。

最後は外2頭の争いとなったが、坂上からもう一段、ギアを上げたヘルメル騎手パントルナイーフがアタマ差で決着した接戦に競り勝った。

8月の初陣は道中の折り合いに苦しみ、2着に敗れた本馬だが、次戦の未勝利戦は鋭く差し切った快勝。瞬発力勝負の様相を呈したこの日も非凡な決め手(自身の上がりタイムは32秒9)を牙え渡らせ、「出世のパスポート」を掴み取った。5歳時の春に重賞初制覇を果たした全兄のパラレルヴィジョンより早く、上昇気流に乗ったキズナ産駒。厩舎の先輩にあたるイクイノックス(21年の優勝馬)同様、今回の勝利を大きな飛躍に繋げたい。

父キズナ

北海道新冠町 株式会社ノースヒルズ生産 詳細はP.12参照

母アールブリュット

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央14戦4勝(道新スポーツ賞)

パラレルヴィジョン(19 牡父キズナ)中央20戦6勝(ダービー卿チャレンジ

ロフィー^{GIII}、ニューイヤーS・L、JRAアブリリリス記念)、地方1戦0勝

(20 牝父ブラックタイド)

アンフォルメル(21 牡父ドウラメンテ)地方1戦0勝

パントルナイーフ 本馬(23 牡父キズナ)中央3戦2勝(東京スポーツ杯2歳S^{GII}) 獲得総賞金47,041,000円

(25 牡父キズナ)

※22、24(不受胎)

祖母イグジビットワンUSA

伊、仏、英3勝(カルロダレッシオ賞・伊^{G3}、パオロメツツァノッテ賞・伊^{G3}、アンブrosiアーノ賞・伊^{G3}2着、ミラノ大賞・伊^{G1}3着)、11年輸入、20年死亡

オークション Auction(10 牝父Mr.Greeley)英、仏3勝(サンドリンガムH・英L2着)

アールブリュット(12 前出)

メートルダール(13 牡父ゼンノロブロイ)中央6勝(中日新聞杯^{GIII}、多摩川S・アメジストS、精進湖特別、葉牡丹賞、新潟記念^{GIII}2着、アメリカジョッキークラブC^{GIII}3着、新潟大賞典^{GIII}3着、共同通信杯^{GIII}3着、京成杯^{GIII}3着)

マスターワーク(17 牝父ダイワメジャー)中央2勝

トゥルーアート(18 牝父ダイワメジャー)中央1勝

曾祖母ツアーズプライド Tsar's Pride

イギリス産 仏1勝(リアンクール賞・L2着)

イグジビットワンUSA(02 前出)

シグナルファイア Signal Fire(06 牡父Mizzen Mast)愛、バーレーン3勝

パヴロスク Pavlosk(10 牝父Arch)英2勝(マイケルシーリーメモリアルS・

英L)、ハブーシェ Babouche(フィーニクスS・愛^{G1}、ラッケンS・愛^{G3}、

アングルシーS・愛^{G3})、ザリンスク Zarinsk(ミンストレルS・愛^{G2}、コ

ネルスコートS・愛^{G3}、ブラウンスタウンS・愛^{G3})、デレヴォ Derevo

(カストディアンオブザトゥーホーリーモスクC・沙L3着)の母

ロストヴァ Rostova(13 牝父Arch)仏、英4勝(カシミールデラマレ賞・仏L)